

当院における腹膜透析関連腹膜炎の頻度および予後に関する検討

1．研究の目的

腹膜透析は、小児における維持透析療法の第一選択です。腹膜透析中止の主因は、腹膜透析関連腹膜炎です。腹膜炎の頻度、原因、予後などについて調査を行い、腹膜炎の適切な予防法と治療方法について検討するために研究を行います。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2002年3月から2022年6月までに腎臓・リウマチ・膠原病科で管理した腹膜透析患者(ただし、腹膜透析の導入が20歳未満かつ自動腹膜透析装置を使用した患者に限る)

研究期間：倫理審査委員会承認後～2026年3月

研究方法：診療録を用いた後方視的観察研究

3．研究に用いる情報の種類

年齢、性別、原疾患、合併症、腹膜炎罹患の回数・原因、検査データ、転帰、カルテ番号 等
患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 腎臓・リウマチ・膠原病科 大坪みさき

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7639）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 腎臓・リウマチ・膠原病科 大坪みさき